



6年生が茶道体験！

毎年6年生が行っている茶道体験。講師は、元小学校長の小林不佐子先生です。6月30日（月）に打合せを行い、7日（月）が本番でした。6年総合的な学習の時間においては、日本の伝統・文化を学ぶ時間を計画の中に設定しており、この茶道教室もその一つです。また、この時間だけではなく、他の教科等との関連を図りながら実施します。当日は、小林先生に朝からたくさん準備していただきました。また、お茶の作法だけではなく、言葉の深さなども教えていただきました。「お先にいただきます」「お菓子ちょうどいいいたします」など、普段の生活の中でも、相手に、より丁寧に様々なことを伝えたいときに参考になる表現についても説明していただきました。日本語は奥が深いですね。（写真左：たくさんの道具を前に説明をされている小林先生、右：お点前をいただいている子供たち。少し緊張しているかもしれません）

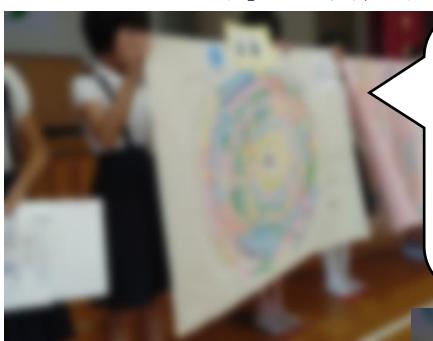


前途洋々

7月の「のびっこ集会」の様子



今月の「のびっこ集会」が8日（火）に実施されました。今月の生活目標は「身のまわりの整理整頓をしよう」です。まずは、いつものように、各学級から、今月の生活目標に沿った具体的なめあてが出されました。夏休み前ということもあるのでしょうか、今回はほとんどの学級から「机の中やロッカーをきれいにする」というめあてが出されました。日々きれいに使いたいですね。そして委員会からの発表・報告です。図書委員会からは、「ほんどうかい」の結果が発表されました。このイベントの期間中、一人平均14冊の貸し出しがあったそうです。そして、赤団が744点、白組が783点でした。よく読んでいますね。そしてこのイベントを盛り上げてくれたMVPの表彰もあり、記念品が贈られていました。次は企画運営委員会から、人権旬間の取組である「人権ラジオ」「学年交換日記」のまとめがされました。子供たちから寄せられた温かい思いにあふれた、ありがとうのメッセージは児童昇降口に掲示されます。「これからも、相手が嬉しくなる言葉が飛び交う青海小学校であってほしいです」との言葉で発表が締めくくられました。



「台風の目」のように、読んだ冊数分のシールを貼っていきます。最後の感想交流で、「もっと本を読みたくなつた」との声が聞かれました。



子供たちから寄せられたあたたかい「ありがとう」のメッセージ。こんな言葉がいつも飛び交う学校でありたいです！

たくさん読んでイベントを盛り上げたMVPの表彰があります。30冊読んだ人もいました！